

# 東海経済レポート(2022年10月)

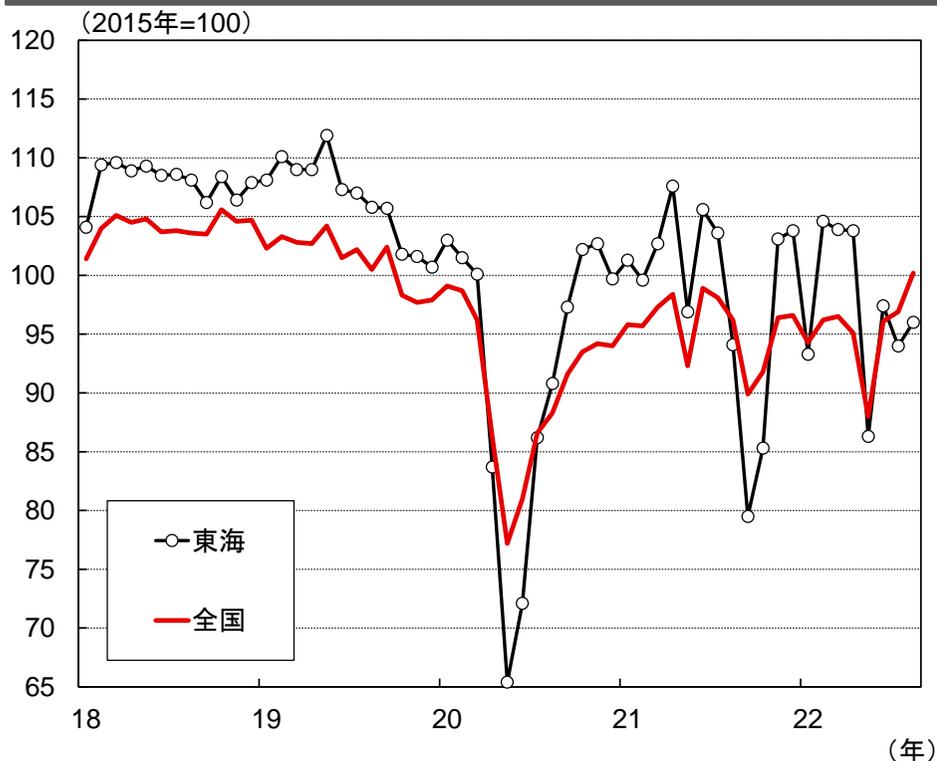
2022年10月26日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室(名古屋)

# 概況・生産

- 東海経済は緩やかな持ち直し基調を継続している。
- 製造業は、供給制約の緩和に伴う生産の回復や堅調な輸出を背景に持ち直しを続けている。サービス業は、感染状況が比較的落ち着いていることから、飲食・運輸・宿泊などを中心に活動が上向いている。
- 8月の鉱工業生産指数は前月比+2.1%と2ヵ月ぶりに上昇、水準は96.0とコロナ禍前2019年8月(105.8)の9割程度。業種別にみると、電子部品・デバイス(同▲21.5%)が大幅に低下した一方、生産用機械(同+9.1%)、輸送機械(同+3.7%)、電気機械(同+3.3%)はいずれも上昇。

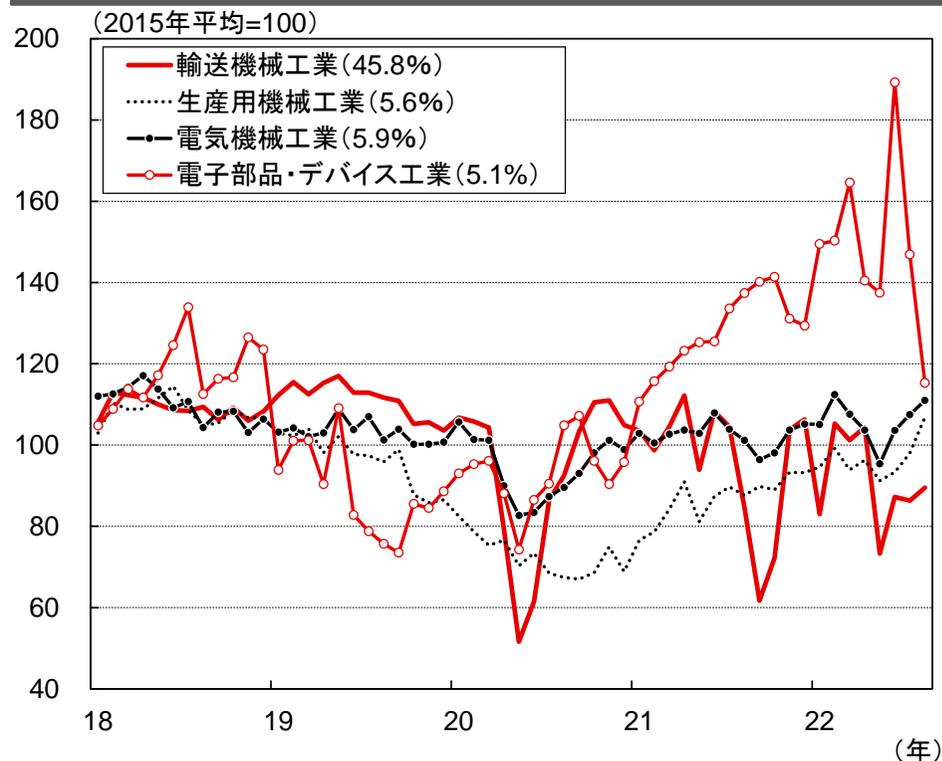
鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

業種別の鉱工業生産指数(東海)



(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

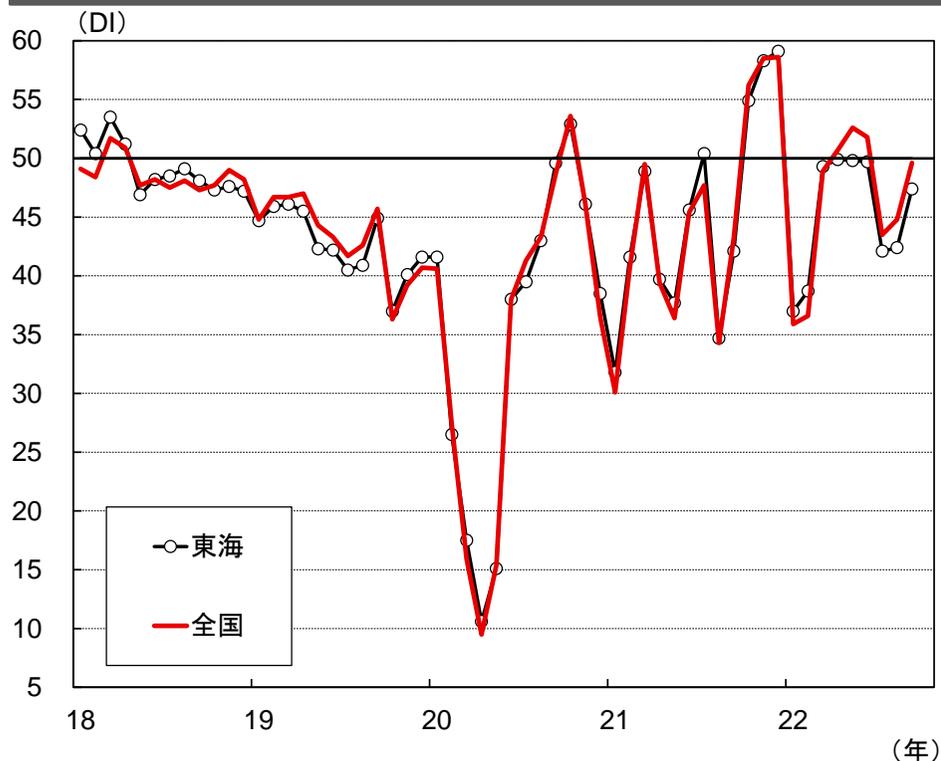
2. ( )内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準。中部経済産業局算出)。

(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 景況感・輸出

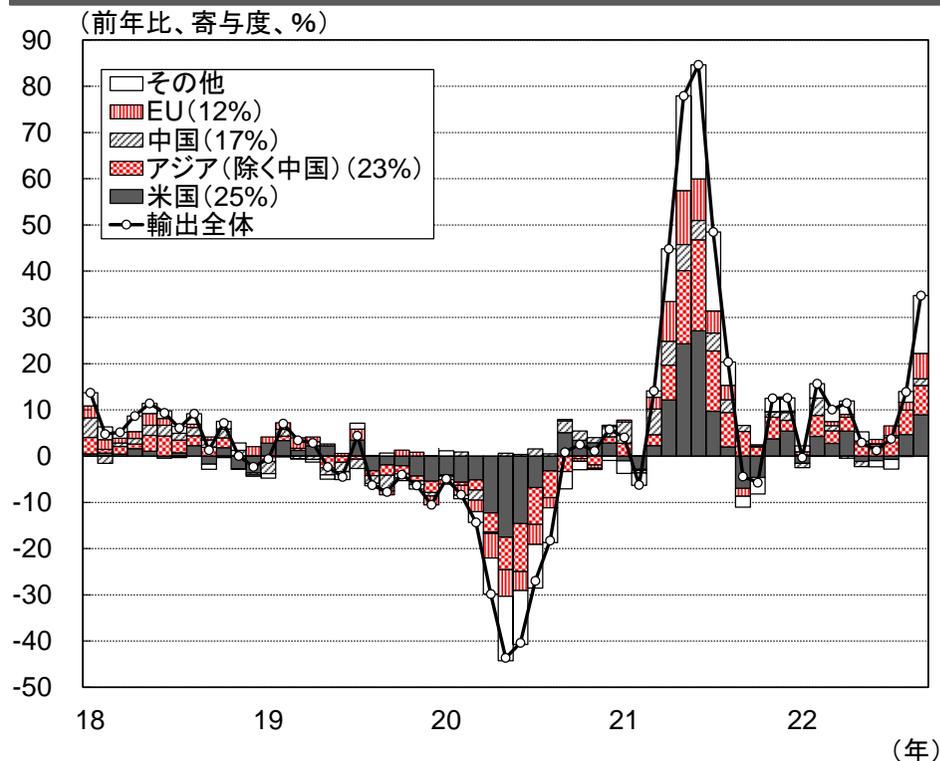
- 9月の景気ウォッチャー調査の現状判断DIは47.4(前月比+5.0ポイント)と2カ月連続で改善も、1月以降は50を下回る状況が続いている。感染状況が落ち着いてきた一方、物価高や急激な円安進行などが懸念材料に。
- 9月の輸出額(円ベース)は前年比+34.7%と8カ月連続で増加。地域別では、EU向け(同+48.6%)、米国向け(同+36.2%)、アジア(除く中国)向け(同+24.1%)、中国向け(同+8.1%)いずれも増加。品目別では、自動車(同+120.1%)、一般機械(同+21.9%)、電気機器(同+15.8%)、自動車部品(同+5.8%)いずれも増加。

景気ウォッチャー調査(現状判断DI)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。  
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

輸出額(東海)

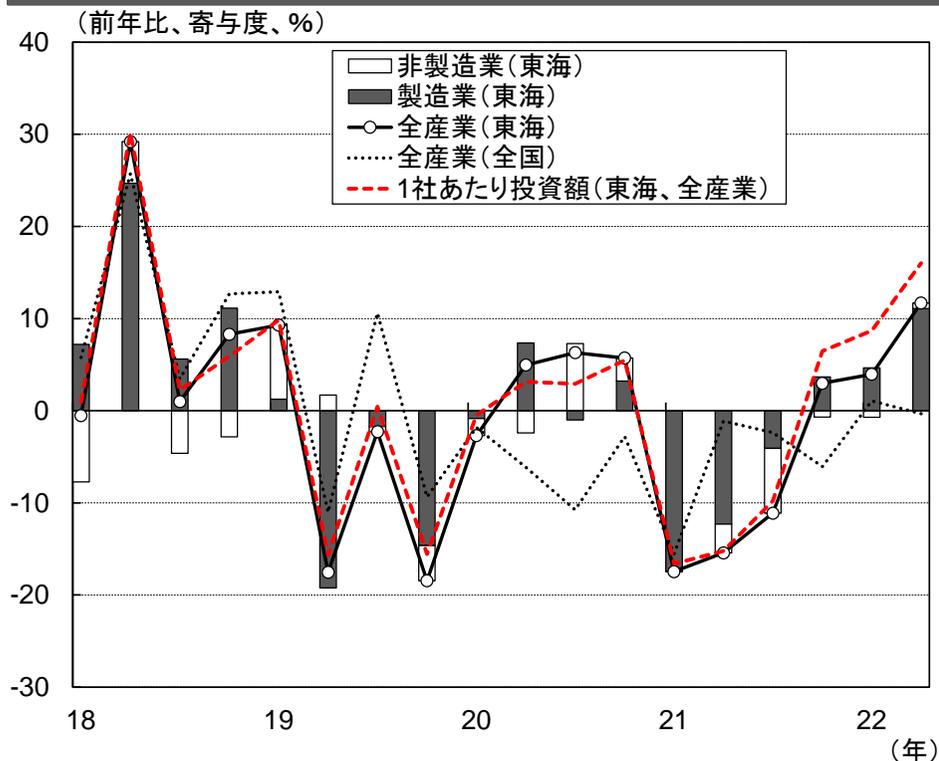


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。  
2. ( )内の数値は2021年輸出総額に占めるシェア。  
3. EUの増減率は加盟国の増減を踏まえて算出。  
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

# 設備投資・機械受注

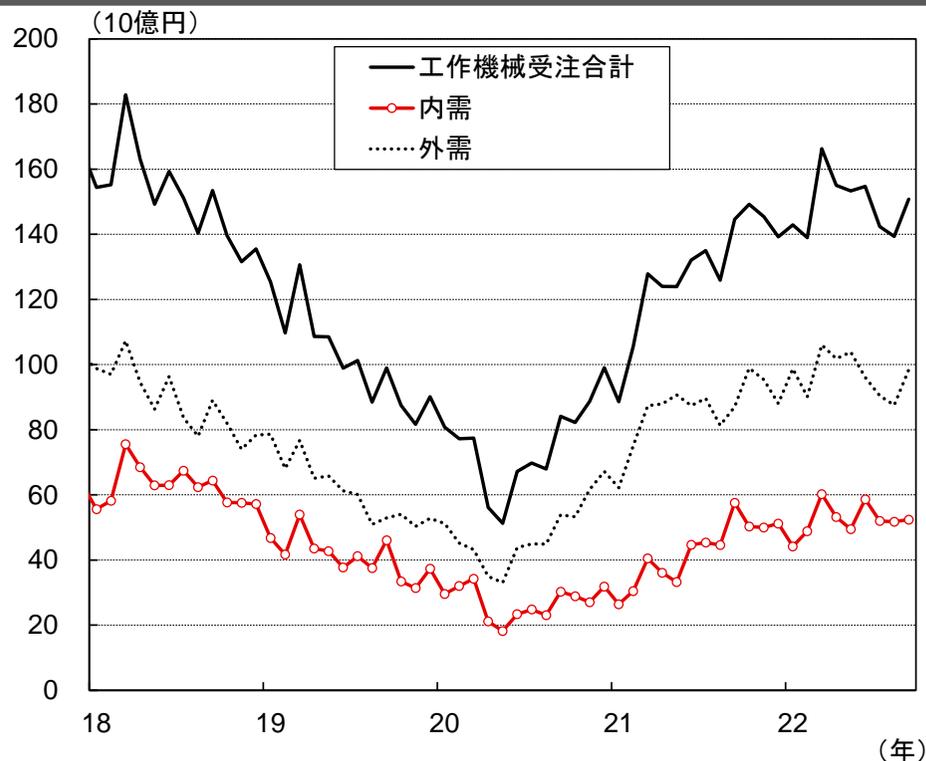
- 4-6月期の大企業の設備投資は前年比+11.7%と三四半期連続で増加。製造業が三四半期連続で増加したことに加え、非製造業が6四半期ぶりに増加した。
- 9月の全国の工作機械受注額は前年比+4.3%の1,508億円と23ヵ月連続で増加。内需が同▲9.0%と19ヵ月ぶりに減少した一方、外需は同+13.1%と23ヵ月連続で増加。

大企業の設備投資



(注) 1. 『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。  
 2. 資本金10億円以上の企業を対象。  
 3. 設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。  
 4. 1社あたり投資額は設備投資額合計を回答法人数で除して算出。  
 (資料) 東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

工作機械受注額(全国)

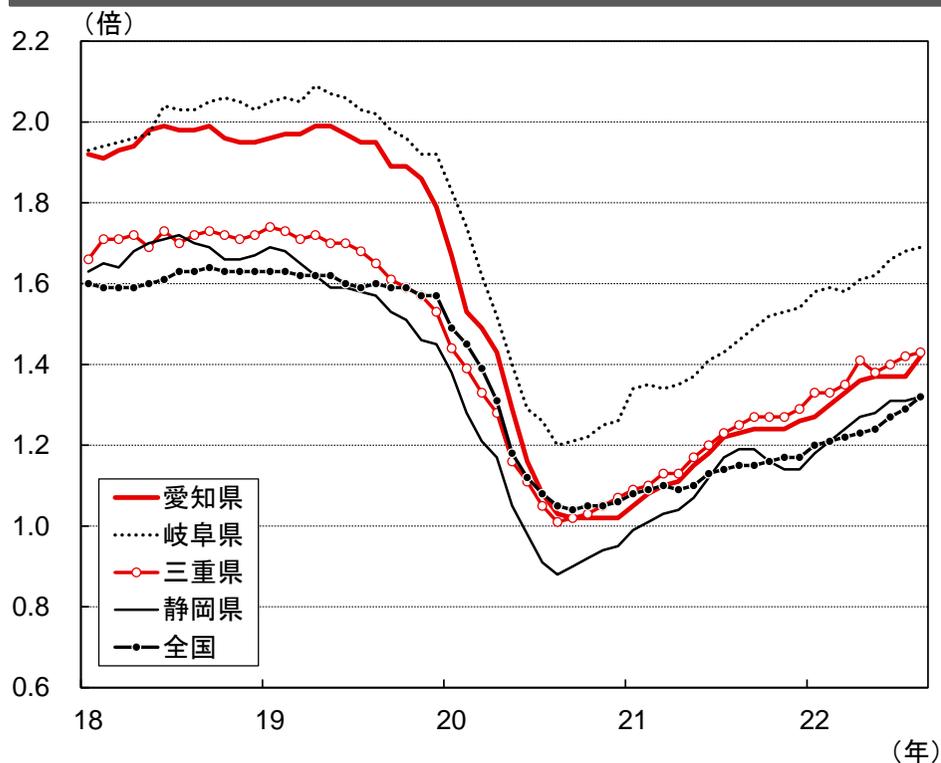


(資料) 日本工作機械工業会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

# 雇用・所得

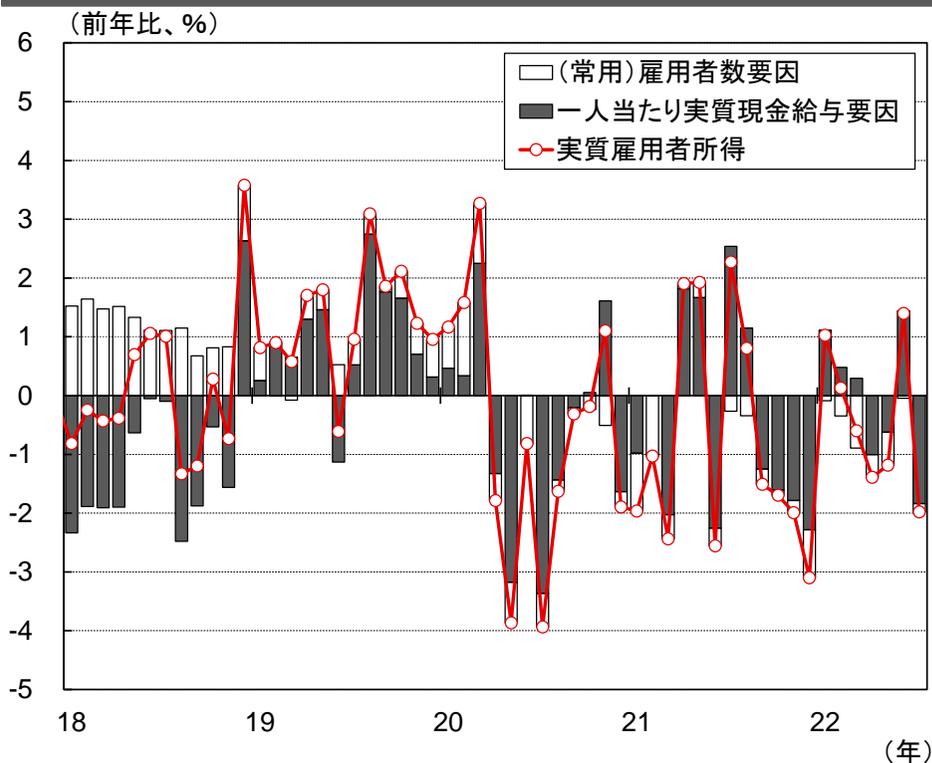
- 8月の有効求人倍率は東海4県いずれも前月比で上昇。全国との比較では、静岡県は同水準、その他3県はいずれも上回った。
- 7月の実質雇用者所得(3県合算)は前年比▲2.0%と2ヵ月ぶりに減少。一人当たり所得の減少が全体を押し下げ。

有効求人倍率



(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

実質雇用者所得(東海)

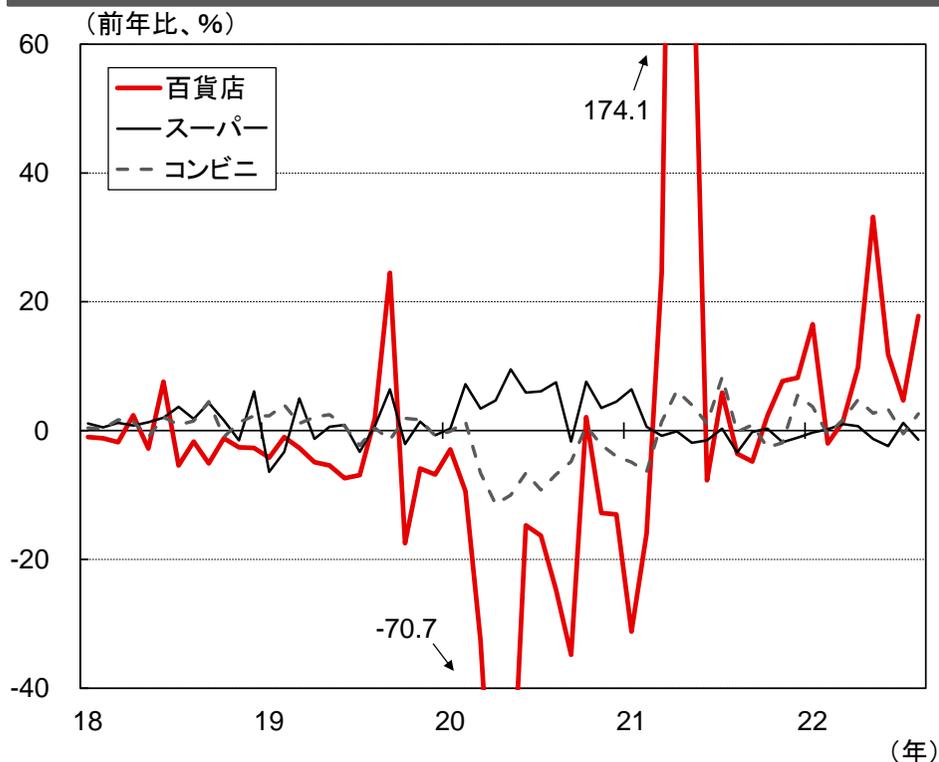


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)各県勤労統計、内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

# 個人消費・住宅投資

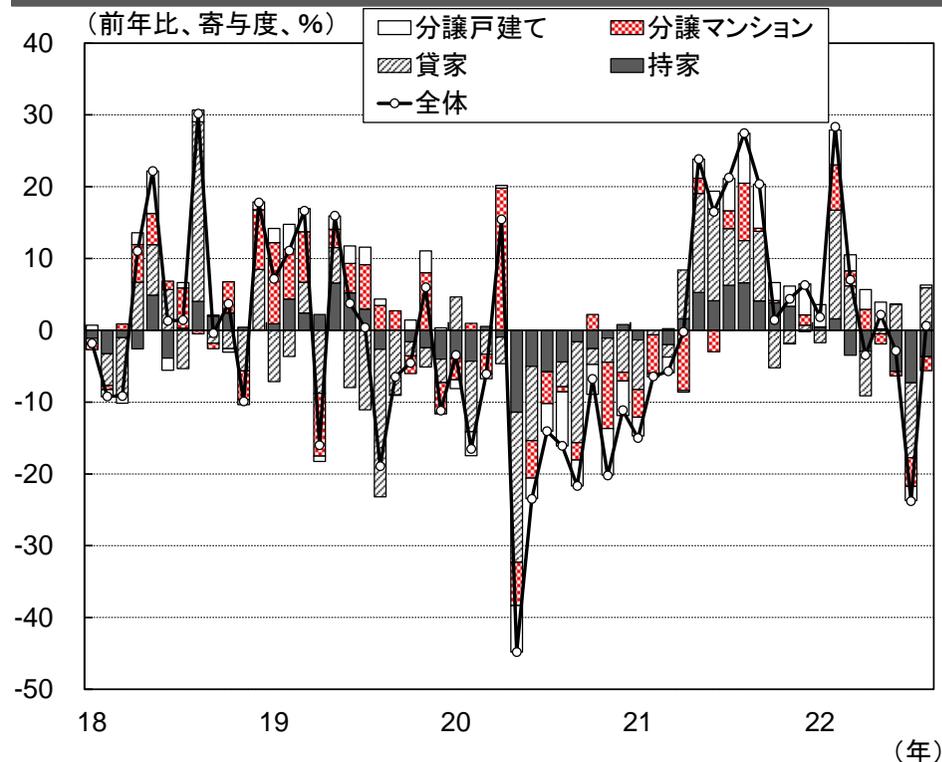
- 8月の小売主要3業態の販売額は、百貨店が前年比+17.8%、コンビニが同+2.6%と増加した一方、スーパーは同▲1.4%と減少。コロナ禍前同月と金額水準を比較すると、スーパー(1,549億円)は上回った一方、コンビニ(1,063億円)、百貨店(328億円)は9割程度。
- 8月の新設住宅着工戸数は年率8.8万戸、前年比+0.7%と3ヵ月ぶりに増加。用途別では、分譲マンション(同▲13.0%)、持家(同▲10.2%)が減少した一方、貸家(同+19.3%)、分譲戸建て(同+2.0%)は増加。水準はコロナ禍前同月を1割程度上回った。

小売主要3業態の販売額(中部)



(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。  
(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

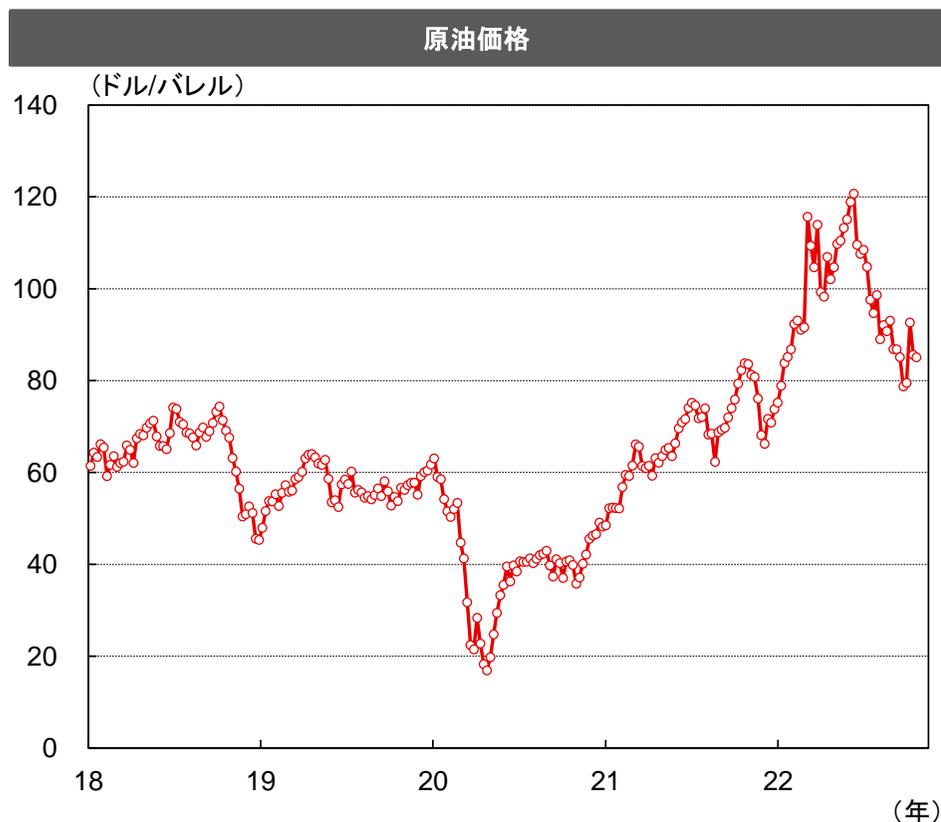
新設住宅着工戸数(東海)



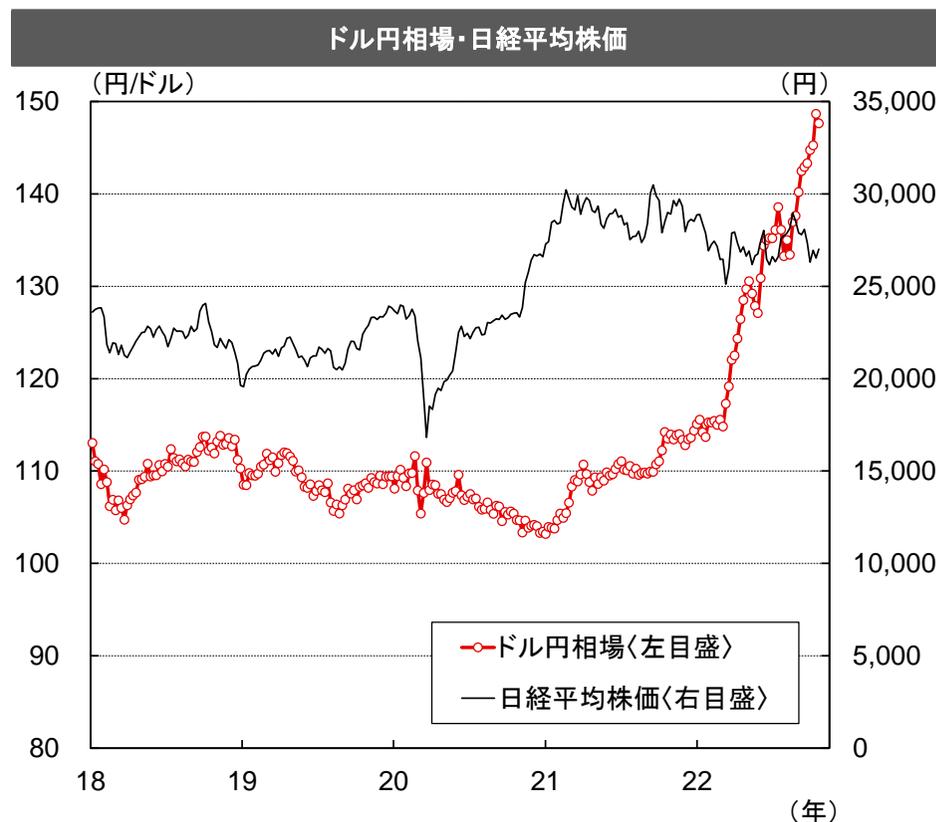
(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)国土交通省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 原油価格・円相場・株価

- 原油価格は、主要国の金融引き締めにより世界景気が減速するとの懸念などから需要減退が意識され、足元は1バレル85ドル程度で推移。
- ドル円相場は、日米の金融政策の方向性の違いがより顕著となり、約32年ぶりの円安水準を更新する1ドル151円台まで一時下落。政府は円買い介入を実施し、足元では148円前後で推移。
- 日経平均株価は、企業収益は底堅さを保っているものの、海外経済悪化への懸念などから上値が重く、足元は2万7千円台で推移。



(注)『原油価格』はWTI先物。  
 (資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

---

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室(名古屋)  
〒460-8660 愛知県名古屋市中区錦3-21-24

照会先：中村 拓郎      e-mail：takurou\_nakamura@mufg.jp